



株式会社堀商店

企画室 室長・HORI SHINTARO
堀 新太郎さん

子どもも大人も笑顔になれる 『「アハハ！」があふれる世界』の 実現を目指して

お客様の要望を汲み取る カスタマーサポート

当社は、昭和25年に私の曾祖父父母が玩具・ゴムフーセンの卸問屋として創業し、取扱商品と販売ルートを広げながら、現在は子ども・イベント向け商品の卸・通販事業を展開しています。TVゲームが世に出たタイミングでゲーム小売店を始めたリ、同業他社に先駆けてインターネット通販に参入したりするなど、新たな業態への挑戦もしてきましたが、一貫して「子どもたちに喜んでもらうこと」を商売の軸に据えています。

ケースが多いので、気軽に質問や相談ができる導線を意識的に確保して、お客様の要望を丁寧に汲み取るようにしています。おせっかいいもいえる当社の文化は、同業他社との差別化にも繋がっていると思います。

情報発信への注力と 「コト売り」への挑戦

私自身は当社の4代目後継ぎです。大卒卒業後、総合商社で海外駐在を含めて8年間、鉱産物の営業などに携わり、令和元年に家業に合流しました。現場経験を積む中で、ビジネスの拡大には、「お客様が商品を欲しいと思った時に当社を思い浮かべてもらう」ことが必要であり、認知度を高めるためにメディア露出を増やそうと決めました。

メディアに注目してもらうには、話題性が必要です。そこで、社員がアイデアを温めていた「宝箱」シリーズ、社員との雑談から生まれた「ポイポイバトラ」、祝い花をお菓子でつくった「ハッピーお菓子スタンド」など、新商品開発を進めるとともに、プレスリリースにも力を入れた結果、継続的にテレビ・新聞などで取り上げていただけるようになりました。

専用ゴーグルと金魚すくいを使うポイを頭に装着して水鉄砲で対戦相手のポイを撃ち合う「ポイポイバトラ」は、単に商品を開発・販売するだけでなく、幅広い世代が楽しめるスポーツとしての普

及を目指して、自ら大会の企画・運営も手掛けています。また、コロナ禍でも子どもたちが楽しめるイベントをつくりたいという思いから、三密を回避しながら仮装した子どもたちが大人と一緒に地域の店舗を巡ってお菓子をゲットする「名古屋ハロウィンラリー」を令和2年から開催しています。こうした取り組み自体が子どもたちに喜んでもらえますし、メディアに取り上げていただくことで、当社を知ってもらう良い機会にもなっています。

「子どもたちに喜んでほしい」 その思いに寄り添う

今後、「子どもたちをどうやって喜ばせたらいいだろう?」と悩んでいる方々の課題解決をお手伝いしながら、子どもも大人もみんなが笑顔になれる『「アハハ！」があふれる世界』の実現を目指していきます。そのためには、当社の認知度を一層高めていくに加えて、昨年採用した2名の新卒社員をはじめ、若い社員が活躍できるよう、働きやすく、新しいチャレンジがしやすい組織づくりへの取り組みを強化していきたいです。

「子どもたちに喜んでほしい」という思いが市場規模だとすると、アイデア次第でまだまだその可能性を深掘りできると思います。これからも子どもたちを笑顔にする商品・サービスの提供に努めていきます。

Column

愛用のアイテム紹介 /

iPad Mini



常に携帯しており、スケジュール管理から打ち合わせメモの作成、打ち合わせで動画や写真を見せるなど、この1台で行なっています。折りたたみ式のキーボードは、コンパクトで持ち運びが便利なおことに加え、打感が心地良いことがとても気に入っています。

Company Data | 会社概要



株式会社堀商店

【創業】1950年
【所在地】名古屋市西区新道2-6-26
【TEL】052-571-0903
【URL】https://www.horishoten.co.jp/
【事業内容】玩具、文具、雑貨、菓子などの販売



ポイポイバトラはスポーツとしての普及も目指して自ら大会も開催しています(写真上)。お菓子などを詰め合わせた「宝箱」シリーズ(写真左下※写真は「復活の宝箱」)や菓子撒きと祝い花の持ち帰りという愛知独自の風習に着想を得た「ハッピーお菓子スタンド」など、社員との雑談をはじめとしたコミュニケーションから新しいアイデアや商品が生まれます。これからも社員一丸で様々なことにチャレンジしていきたいです(写真右下)。